

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 高草木 悟
編集人 磯田 孝友

〒379-2166

群馬県前橋市野中町361番地2
（群馬県勤労福祉センター2F）

TEL 027-263-0555

FAX 027-261-0549

Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp

URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2018年5月号
No.265

つながって、盛り上げよう若い力で!! 2020東京パラリンピック!

青年委員会スポーツ交流会開催



こんなこと

4月22日(日)群馬県勤労福祉センター体育館で労働組合の次世代を担う青年層120名が集まり『タグラグビー』と東京パラリンピック競技種目でもある『シッティングバレー』を行いました。

はじめに、加藤青年委員長は「スポーツ交流会は他組織との交流を深めることが第一の目的であり、普段では出来ない異業種の方々とたくさん話をして繋がって欲しい。また、連合が応援している『2020東京五輪・パラリンピック』に向けた意識啓発として、パラスポーツにも興味をもってもらいたい。」と挨拶がありました。

競技開始前には、アイスブレイクを実施し、他人を紹介する『他己紹介』やじゃんけんで負けると連帯責任で走りつづける『じゃんけんリレー』、ランダムに手を繋ぎ一つの輪を目指す『人間知恵の輪』(写真右上)などを行い、まずは雰囲気づくりから始めました。

競技では、当日は前橋で最高気温30度を記録する中、暑さに負けない熱戦が繰り広げられました。アイスブレイクの効果も発揮され、声を出し合いながら、またゲーム中ではハイタッチをして喜び合い、ナイスプレーには自然と拍手が湧くなど、チームの結束が随所に見られました。

昼休憩には青年委員会が考えた、組合に関するクイズをチームプレーで回答する『産別クイズ』を実施し、頭脳戦でもチーム力を発揮し和気あいあい進めていきました。

総合優勝
Eチーム



競技では力及ばずでしたがクイズでは全力で調べました。このチームで優勝できてよかった!! 仕事で途中退席のリーダーやりましたよ(笑)

1

後方: 北村聡(サンデン労組) 中里郁美(ジーテクト労組) 入澤榛那(東電労組) 滝澤寿希也(ミツバ労組) 鳥井雅也(日本精工労組) 山本俊亮(桐生市労連) 前方: 古谷駿季(新潟原動機労組) 諸田聖弥(NTT労組) 井本雄三(FDK労組)

あんなこと

シッティングバレーはおしりをつけた状態でサーブやレシーブを行います。9人制でソフトバレーを使い、バトミントンコートを使った独自ルール。初めはサーブが届かない人も多かったけれど、徐々にラリーも増えてきました。



連合群馬
125,000 !

5・6・7月は
組織拡大強化月間

1000万連合 ヘラストスパート！

2020年までに組合員1000万人をめざす、組織拡大の取り組みは、『1000万連合実現プラン』（2012年5月）以降、連合加盟各組織において活動が進められてきました。

2018年度の連合に登録されている組合員の人数は、696万578人となり、昨年度より10万1,920人増加しています。しかし、2020年10月を目標とした「1000万連合」は、現在のスピードでは到底到達することができません。残りわずかとなった今、「1000万連合」の実現に向けて取り組みを加速しなければなりません。

連合の「2018-2019年度運動方針」では、「1000万連合」に向けて次の内容を確認しています。

【組織拡大に向けた連合全体の戦略と体制の構築】

これまでの「1000万連合」の取り組みの総括を踏まえ、各組織が相互に目標を再確認するとともに、2020年の目標実現に向けた戦略と具体的な取り組みについて連合全体で共有し、取り組む。

また、働き方改革の推進には集团的労使関係の構築が不可欠であることを組織内外に伝える。特に構成組織は、加盟組合が企業内の未組織労働者とグループ内の未組織企業などを組織化するように指導する。あわせて、雇用の流動化と断片化を労働者の危機と認識し、戦略的な組織拡大の取り組みと将来に向けた対応について検討する。

また、「1000万連合」の取り組みは、連合が進める「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて欠かすことはできません。このため、連合本部・構成組織・加盟組合・地方連合会は、次の3点を重点的な取り組みとし、さらなる組織拡大をはかります。

- I. 非正規労働者（パート・有期契約・再雇用など）の組織拡大
- II. 子会社・関連会社、取引先企業の組織化
- III. 未組織企業の組織化

連合群馬に加盟する組合員は2018年2月現在、97,839人。3年前と比較すると、3,767人の仲間が増えており、徐々に組織拡大が進められています。一方、目標は2020年までに125,000人であり、連合全体と同様、目標に到達するにはきわめて厳しい状況にあります。

これらをふまえて、連合では5月から7月までの3カ月間を「組織拡大強化月間」と位置付け、ラストスパートをかけるべく、組織拡大・組合づくりの必要性をPRし働く仲間の拡大に取り組めます！

引き続き、加盟組織のみなさまにおいても、社内での組合未加入者へのアプローチ、または友人・知人で労働組合の無い企業に勤め、働くことでの困りごとがないかなど、取り組みのご協力をお願いします！

連合群馬の取り組み

組織アドバイザー打ち合わせ のひとコマ

連合群馬の組織拡大の取り組みに係る会議は、産別・地協役員で構成する「組織拡大委員会」と、労働相談や組織拡大を中心に取り組んでいる組織アドバイザーと、組織拡大担当で構成する「組織アドバイザー打ち合わせ」があります。



組織アドバイザーと組織拡大担当者が月1回打ち合わせ

「組織アドバイザー打ち合わせ」は、労働組合を結成して間もなく、あるいは個人加盟によって産別加盟していない「連合群馬ユニオン」の団体交渉の取り組み状況



や近況報告、連合本部方針をもとに組織拡大の取り組み内容の検討、継続的に受けている労働相談の状況などを共有しています。打ち合わせは定期的に（月1回）開催し各項目の進捗を確認しています。

こんなことも・・・



労働相談ダイヤルの入ったスタッフジャンパーで街宣行動やイベント時に「歩く広告」としてPR！

労働相談から組合を結成された方からは、「労働協約ができて会社と交渉しやすくなった」、「働き方を良くしていこう、という気持ちが高まった」などの声が寄せられています。このように労働組合があることの良さを伝え、街中でのPR（写真上）も含め、これからも働く仲間に寄り添った活動を進めていきます。

平和派遣団に参加してみませんか？



●なぜ、連合が平和運動に取り組むの？

以前、広島での平和行動に参加された組合役員の方が、原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に出席した際、連合関係者の参加者の多さに驚き、「どうして連合はこんなに平和活動に力を入れるのか」と聞かれました。たしかに、平和が大切であることはわかっていますが、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」から、直接的に平和運動へはつながらないですね。でも、連合が平和運動に取り組む理由は実に単純で、「私たちが安心して暮らし、働くためには、『社会が平和で安定していること』が大前提」だからなのです。

「社会が平和で安定している」という点で見れば、ほかにも人権問題や被災地支援、NPOへの支援など、連合はさまざまな活動に取り組んでいます。

●具体的な取り組み

毎年、6月～9月を「全国平和運動強化月間」と設定し、その間に開催される沖縄・広島・長崎・根室の各平和集會に、団を編成し派遣しています。また、平和の大切さをひろく伝えていくために、平和学習の場とあわせて派遣団の代表者から参加報告をしていただいています。

そのほかにも、北方領土返還を求める署名や核兵器廃絶を求める署名など思いを同じくする人たちへの協力や、戦争の恐ろしさを世論喚起するためにパネル展などに取り組んでいます。

●平和への願い

「自分一人が参加しなくても何も変わらない」そう考える方もいると思います。しかし、過去の歴史を振り返れば、戦争の一番の被害者は国民です。「一人ひとりが、きちんと過去と向き合って未来に向かっていかないと同じ過ちを繰り返すことになるかもしれない」以前、講演をいただいた語り部の方の言葉のとおり、憲法9条や基地問題など、私たちの未来を考えるには、しっかりと過去を知る必要があります。

さらに、国際社会となった現代において、多くを輸入に頼る日本では、他国で戦争が起きてしまった場合、その距離に関わらずその影響に脅かされることとなります。

平和の大切さを感じ、組織内へひろげていただくために、本年も平和派遣団員の募集をしています。広島・長崎・根室については、これから展開をしていきます。

●2018年度の平和派遣団予定

派遣団	日程
沖縄	6月23日(土)～25日(月)
広島	8月 5日(日)～ 6日(月)
長崎	8月 8日(水)～10日(金)
根室	9月 7日(金)～ 9日(日)

政策実現には議員の力

群馬県議会報告 <平成30年第1回定例会>



【井田県議、交通まちづくり戦略について聞く！】



2月19日(月)から3月20日(火)までの会期で開催された、平成30年第1回定例会において、議員懇談会の井田県議が一般質問に立ち、県の「交通まちづくり戦略」について質問を行いました。

Q. 県内の鉄道を維持・活用していくために、どのような取り組みを進めるのか。

A. 県内の鉄道利用者は近年、横ばいであるが少子化に伴い20年後には通学利用者が38%減と予想している。

鉄道の利用促進に向けて、鉄道駅のアクセス性やバスとの乗り換え抵抗の改善を行い利用促進をはかる。

Q. 各路線のアクションプログラムの取り組み、計画を聞きたい。

A. 鉄道の利用促進の緊急対策として、概ね5年間の計画を立て、駅へのアクセス向上をねらった道路や駅前広場の整備、パークアンドライド駐車場の整備などを進める。今年度より3年間は、各市町村や業者と連携し、JR吾妻線、両毛線、東武桐生線、上毛電鉄のプログラムを策定していく。

通学者を含めた交通弱者対策として、公共交通の維持は群馬県の喫緊の課題です。今後の動向に注目しつつ、引き続き議員懇談と連携し、政策実現をめざします！

6月は「男女平等月間」です!!

男女平等参画推進学習会を開催します!

日時：6月5日(火)18:30~20:00
(受付18:00~)

場所：群馬県生涯学習センター4階 第1研修室
群馬県前橋市文京町2-20-22

内容：取り組み報告／女性活躍先進企業訪問の取り組み
講演会／講演名称：「(仮)女性活躍を進めるために」
講師：連合本部副会長(男女平等参画推進委員長)
芳野 友子 氏

定員：130名

※お申し込みは、労働組合経由をお願いします。

秘密厳守

相談無料

スマホ・携帯からもOK

～職場で悩むあなたをサポートします～

全国一斉集中

『女性のための労働相談ホットライン』

日時：6月15日(金)～16日(土)
10:00～19:00

フリーダイヤル 0120-154-052

これって「パワハラ?」、突然「契約を更新しないと
言われた」、パートは「有給休暇」が取れないの?など、
ひとりで悩まずにまずは連合にしてみませんか?

新たに東毛エリアアドバイザーを配置 地域を拠点にサポートしていきます

4月から新たに桐生・伊勢崎・太田・館林を拠点に、
東毛エリアアドバイザーとして、中小企業労組との情
報交換、地域での労働相談や組織拡大を中心に皆さん
と連携していきます。「福田 正司(ふくだまさじ)」
宜しくお願いします!

福田ADはこんな人
・元三洋電機労組
オブテック支部
副執行委員長
・元千代田町議会議員
趣味は手品とお酒!
自家製菜園で野菜づくり



報告

地方自治体選挙結果

石坂さん2期目の当選! 岩井氏は惜敗

富岡市長選挙(4月15日投開票)

候補者名	得票数	当落	区分
岩井賢太郎	10,615	落	支持

みなかみ町議会議員選挙(4月22日投開票)

候補者名	得票数	順位	当落	区分
石坂 武	745	5/18	当	支持

第16期がスタートし、早くも半年が経ちました。あつという間に桜が散り、すでに夏：連合エコライフ21に取り組み、地球温暖化を防止しましょう!

さて、私が担当する政策。取り組みの柱である「政策・制度要求と提言」は、次年度の群馬県予算に要求内容を反映できるよう、毎年8月末に知事へ提出しています。これから次年度の「政策・制度」の作り込みをしていくこととなりますが、現在は、みなさまにご協力いただいた「県民意識調査」の結果を県民のニーズとして織り込むために分析をしているところです。連合群馬がめざす「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」を念頭に置き、幅広く政策を立案していきたいと思っています。

前号のあぶらうちで報告した、地域課題を発掘するスキルアップをねらった「政策学習会」の中で、感じたことを書かせていただきます。「ゆるいKJ法」(講師の小竹先生の命名)で参加者各々が感じている課題を付箋に書き出す中で一番多かったことは、破損や歩道未整備などの「道路関係」でした。ほかに鉄道やバスなどの「公共交通関係」や、自転車を含む「運転マナー」が多かったのですが、意外にも近所付き合いなど「地域関係」を課題とされた方が多くいました。

以前参加した「地域包括ケアシステム」の講演では「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らし」を続けるために、地域住民の連携、助け合いが必要不可欠であることを痛感させられました。一方、災害が地域の絆を強くするとも言われ「地域の関係が希薄」は、災害の少ない群馬県に少し影響があるのかも知れません。住み慣れた場所で長く健康で住み続けるためにも、いつ起こるかも知れない災害に迅速に対応できるようにするためにも、近所同士のコミュニケーション、すなわち「地域住民の連携」を充実させることは、重要な政策課題の一つだと感じています。(磯田)



「安心して働きたい・暮らしたい」「近所の人と、良く知っていますか?」